



連続シンポジウム

生活環境としての
都市・まち・建築・景観を考える

第1回「建築の記憶」パネルディスカッション

- 日 時：2022年3月4日（金）16：00～18：00（受付15：30～）
- 場 所：建築家会館本館1階ホール 東京都渋谷区神宮前2-3-16
- 参加員数：30名（先着順） 参加費：3000円（資料・本代込み）
- 申込方法：メールで申込みください。Eメール：hashimoto@maekawa-assoc.co.jp
- 主 催：東京海上ビルディングを愛し、その存続を願う会

『連続シンポジウム』開催の御案内

令和3年3月25日東京海上日動火災保険会社により本社ビル（東京海上ビル）の解体・建替が発表されました。東京海上ビルは、建築家前川國男により高層建築の周りに広場を設けて「太陽と緑の空間」を確保し、「自然と人間の復権」を願った都市景観が提案され、その後美観論争を経て、1974年に竣工した経緯があります。解体の報に接し、前川國男建築設計事務所の元所員を中心として「東京海上ビルディングを愛し、その存続を願う会」を発足し、多くの方々から東京海上ビルに関する様々な視点でのご意見を戴き、これらは一冊の本にまとめられました。

御案内の連続シンポジウムは、本の執筆者をお招きしその考えをより深掘し、さらに様々な立場の方々の考え、さらには建築・地域環境問題に取り組んでいるの方々による報告等を柱として、課題と問題点を共有し、生活環境としての都市・まち・建築・景観を考える一環として催されるものです。

もとよりそれぞれの課題は個別特有のものもあり、共有できる領域も限られるとは思いますが、都市や地域社会の環境など、身近な生活環境にどう向き合うか、こうした課題を話し合える場として、当シンポジウムを位置付けたいと考える次第であります。ご参加をお待ちしております。

「東京海上ビルディングを愛し、その存続を願う会」 会長：奥村 瑋一

記

「連続シンポジウム」：生活環境としての都市・まち・建築・景観を考える

第1回「建築の記憶」パネルディスカッション 令和4年3月4日（金）16：00～18：00

パネラー：・「人々の理想と記憶の中の建築」武田智行（弁護士）

・「良いものは残して使い続けよう」松岡和子（東京医科歯科大学名誉教授・翻訳家）

・「カチカチ山の狸の火傷色」大宇根弘司（大宇根建築設計事務所・存続を願う会幹事）

※パネラー・お話の内容は都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

2回以降：テーマは予定です。パネラーは確定次第ご連絡いたします。

第2回「都市とヒューマニズム」

令和4年4月 8日（金）16：00～18：00

第3回「存続のために1」

令和4年5月13日（金）16：00～18：00

第4回「存続のために2」

令和4年6月10日（金）16：00～18：00

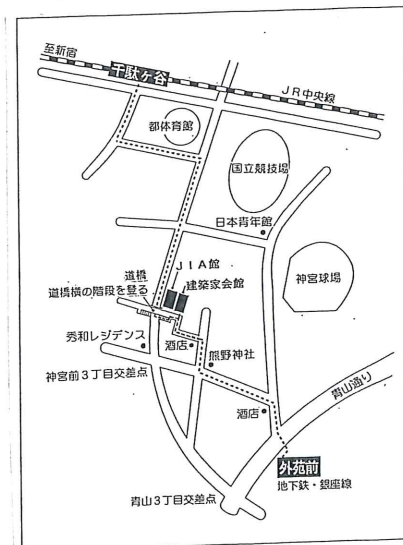
第5回「建築の保存は如何にして行われたか」

令和4年7月 8日（金）16：00～18：00

メモ：各回とも場所は：建築家会館本館1階ホール

申込み方法：メールで申込みください。

Eメール：hashimoto@maekawa-assoc.co.jp



お問い合わせ：前川建築設計事務所（03-3351-7101） 担当 橋本